

[目次]

2018年1月号

年頭挨拶	2018年を迎えて 一祝・成人—	縣 秀彦	2
	特別記事	法人化実行委員会より (I) ~定款案等の修正作業及び法人登記完了の報告~	縣 秀彦 ほか 3
投稿	天文学者による小学校理科授業 (その3) ~国立天文台事業「ふれあい天文学」実施校による報告~	河守博一	17
	中学校と高専の連携による天文教育 (その2) ~中学校科学部員に天文学研究の面白さを体感させよう!!~	竹内彰継、入川琢仁	21
	鳥取県は星取県になりました ~美しい星空を活用した地域活性化の取組み~	井田広之	27
連載	宇宙を観じる生活を! (39) ~黄華堂ブログより~	黄華堂	32
	社会教育施設について考える (WG 報告) ~第8回: ダイニックアストロパーク天究館編~	高橋 進 生涯学習施設支援 WG	34
報告	2017年度第1回近畿支部会報告	中串孝志	38
	2017年度 中国四国地区「天文・宇宙が学べる大学」合同進学説明会	松村雅文、小田 玄	41
情報コーナー	関東支部会の開催報告	亀谷和久	45
	2018年天文教育普及研究会年会のお知らせ	年会実行委員長	48
	会合やイベント	編集委員会	49
	最近出版された天文関連書	編集委員会	52
	事務局からのお知らせ	事務局	54

編集部より

2018年の新年を迎えました。明けましておめでとうございます。今年も皆様にとって星や空、宇宙を楽しみながら過ごせる年であることをお祈り申し上げます。

ここ数年間、多数の方が尽力され、皆様にも承認いただいた本会の法人化への手続きは、昨年末に公証役場での定款のチェックを経て法務省に提出、さらなるチェック、修正作業を行い、登記へ向けて作業が進められました。今年の夏における新法人全体集会に向けて準備は着々と進んでおります。

また、お手元の本誌の巻数をご覧くださいと、なんと30巻となりました。十年一昔と言いま

すが、複数の世代を超えて本誌が綿々と続き時代時代に応じた天文教育、天文普及が行われてきたことを嬉しく思います。また、その流れの中の一翼を担わせていただいていることに感謝と責任を感じながら、今年も本誌が意義あるものとなりますよう努力して参ります。

昨年、太陽と地球をかすめた小天体、1I/2017 U1には初めて恒星間天体を意味する”I”の符号が与えられました。本会を取り巻く環境同様、天文学や人類にとって新たな時代の幕開けなのかもしれません。

2018年1月 編集委員長 松本直記